

消防広第 38 号  
平成 31 年 3 月 8 日

都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁広域応援室長  
(公 印 省 略)

### 緊急消防援助隊ロゴマークの作成について

緊急消防援助隊は、平成 7 年の制度創設以来、東日本大震災をはじめ多くの大規模災害等において、人命救助活動等に多大なる成果を上げるとともに、南海トラフ地震や首都直下地震などの発生が懸念されるなか、その期待はますます高まっています。

消防庁では、緊急消防援助隊の結束力を一層強化するとともに、その活動をより広く周知することなどを目的として、「緊急消防援助隊ロゴマーク」を作成しました。

別添の「緊急消防援助隊ロゴマーク運用マニュアル」に基づき、緊急消防援助隊の部隊や車両において御活用いただくほか、制度を P R する際などに御活用ください。

また、貴都道府県内の消防本部に対して、この旨周知いただきますようお願いいたします。

#### 添付資料

- 緊急消防援助隊ロゴマーク運用マニュアル
- ログスタイルガイドライン
- ロゴマーク画像

(3 月末頃にダウンロード用の画像を支援情報共有ツールに掲載します。)

〈問合せ〉 消防庁広域応援室 担当 明田・望月・横山・宮西 TEL 03-5253-7527
---

# 「緊急消防援助隊ロゴマーク」運用マニュアル

「緊急消防援助隊ロゴマーク」は、次の事項に注意して正しく使用ください。

## 1 「緊急消防援助隊ロゴマーク」について

緊急消防援助隊は、平成7年6月に創設され、平成15年6月に法制化（平成16年4月施行）されました。東日本大震災をはじめ多くの大規模災害等において、人命救助、被害の軽減に多大なる成果を上げるとともに、南海トラフ地震や首都直下地震などの発生が懸念されるなか、その期待はますます高まっています。

消防庁では、緊急消防援助隊の結束力を一層強化し、その活動をより広く周知することなどを目的として、「緊急消防援助隊ロゴマーク」を作成しました。

ロゴマークのデザインは、緊急消防援助隊の登録消防本部・登録道県消防防災航空隊の投票結果を踏まえ、カラビナをモチーフとしたものに決定しました。

緊急消防援助隊として全国の消防本部から出動する隊員同士が、堅く結束し、困難な場面に立ち向かう力強さを表現しています。

緊急消防援助隊の部隊・車両において御活用いただくほか、制度をPRする際などに御活用ください。

## 2 用語の定義

このマニュアルで使用する用語の定義は、次のとおりです。

- ① 緊急消防援助隊ロゴマークとは、「ロゴスタイルガイドライン（別添）」3ページの「タイプ1」及び「タイプ2」
- ② 独自の展開スタイルとは、「ロゴスタイルガイドライン」にないスタイル

## 3 使用方法

「ロゴスタイルガイドライン」4ページ以降のブランドカラー、アイソレーション及び禁則に沿って「緊急消防援助隊ロゴマーク」をそのまま使用する場で、次の場合は、自由に使用ください。

- ① 国、地方公共団体及び消防関係団体等（消防防災関係の公益法人及びその会員を含む。）が業務の目的で使用するとき。
- ② 報道機関が緊急消防援助隊に係る報道及び広報の目的で使用するとき。

前記①及び②に該当しない場合及び「独自の展開スタイル」を使用する場合は、消防庁広域応援室（TEL：03-5253-7527）に御相談ください。

#### 4 使用差止め

次に定める事項に該当する場合は、使用を差止めることがありますので注意してください。

- ① 使用目的及び使用方法が、緊急消防援助隊ロゴマークの趣旨に反すると認められるとき。
- ② 消防の印象や威信を傷つけるおそれがあると認められるとき。
- ③ 法令、公序良俗に反し、又は反するおそれのあるとき。
- ④ 特定の政党、候補者、宗教団体及び営利団体を支援し、若しくは公認しているような誤解を与え、又は与えるおそれがあるとき。
- ⑤ その他、消防庁が緊急消防援助隊ロゴマークの使用について不相当と認めるとき。

#### 5 その他

その他、御不明の点は、消防庁広域応援室（TEL：03-5253-7527）にお問い合わせください。



LOGO

STYLE GUIDELINE

## 緊急消防援助隊ロゴスタイルガイドライン

このガイドラインは緊急消防援助隊ロゴマーク運用マニュアルに基づき、ロゴのスタイルを定めています。

「命を守る」という使命を負った緊急消防援助隊をシンボル化したロゴです。

本規定に沿った運用でブランドの品質を保ち、一貫したイメージを永続させることを目的としています。



## C o n t e n t s

---

1. ロゴの種別と構成	P3
2. ブランドカラー	P4-5
3. アイソレーション	P6
4. 禁則	P7

---

## ■ ロゴの種別と構成

### ■ タイプ1（マークのみで構成）

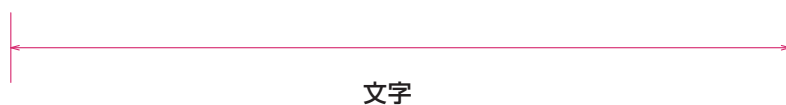
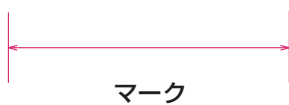


### ■ タイプ2（マークと文字で構成）



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response



## ■ ブランドカラー 1

### ■ カラー



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

レッド	DIC	DIC2 版 2490
	RGB	R 200 G 26 B 33
	CMYK	C20 M100 Y100 K0

ゴールド	DIC	PANTONE 8383 C
	RGB	R 201 G 171 B 104 R 251 G 224 B 185 R 205 G 175 B 106
	CMYK	C25 M33 Y64 K0 C1 M15 Y30 K0 C23 M32 Y63 K0

ブラック	DIC	DIC17 版 582
	RGB	R 0 G 0 B 0
	CMYK	C0 M0 Y0 K100

ホワイト	DIC	DIC17 版 583
	RGB	R 255 G 255 B 255
	CMYK	C0 M0 Y0 K0

### ■ モノクロ



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

タイプ1：外円  
タイプ2：外円、文字

グレー	K	100%
-----	---	------

タイプ1：丸縁、FIRE RESCUE EMS  
タイプ2：丸縁

グレー	K	30%
-----	---	-----

タイプ1：内円  
タイプ2：内円

グレー	K	75%
-----	---	-----

タイプ1：カラビナ、緊急消防援助隊  
タイプ2：カラビナ

グレー	K	0%
-----	---	----

## ■ ブランドカラー 2

### ■ 基本背景パターン

ロゴの背景色に関して、ロゴの視認性が確保できる色は下記のロゴを拡大/縮小して、ご使用ください。



緊急消防援助隊  
National Fire Service Team for Disaster Response

黒または、濃い色の背景色に関して、ロゴの視認性を確保するのが困難な場合、下記のロゴを拡大/縮小して、ご使用ください。



消防車両などにカットニングシートでロゴシールを作成する場合、下記のロゴを拡大/縮小して、ご使用ください。



マークの視認性が確保されている背景色の場合でも、ブランドのイメージを損なうような配色はお控えください。

※P7の禁則となる背景色をご確認ください。



## ■ アイソレーション（不可侵領域）

ロゴの周辺には十分に余白を確保してください。ロゴの表示される同一平面上に他の文字情報やデザイン要素がある場合には、下図のような「アイソレーション」(不可侵領域)を最低限確保し、この範囲内には、何も入れないでください。



## ■ 禁則となる配置や表現

- アイソレーションを守らない配置 文字、図形などの要素がロゴの一部とみなされないようにしてください。※架空名称です。



## ■ 禁則となるカラー

- 規定色以外での表示



- グラデーションでの表示



## ■ 禁則となる背景色（パターン）

- ブランドイメージを損なう背景

「命を守る」という使命を負った緊急消防援助隊をシンボル化したロゴです。ブランドイメージを損なうような背景に配置するのは控えてください。



上記のようにブランドイメージを損なわなければ、グラデーション、柄、写真上での配置を可とします。

## ■ 禁則となる組み合わせ

- タイプ1とタイプ2の文字との組み合わせ

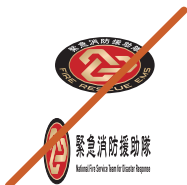
- タイプ2のマークと文字の相互バランス



マークと文字のバランスを考慮したロゴになっています。相互の位置関係、大きさを変える等のバランスの変更、分離しての使用は不可とします。

## ■ 禁則となる変形表現

- 平体/長体変形



- 斜体変形



- アウトライン変形



- 曲面変形



# ロゴマーク画像

## ■ タイプ1 (マークのみで構成)



## ■ タイプ2 (マークと文字で構成)



**緊急消防援助隊**

**National Fire Service Team for Disaster Response**